

エコアクション21 環境経営レポート

2024年度(令和6年度)

運用期間 2023年10月～2024年9月



栃山川堆積土撤去工事

新井工業株式会社

作成日:2025年4月1日

目 次

1. 組織の概要、実施体制	1
2. 環境経営方針	3
3. 環境経営目標	4
4. 環境経営計画	5
5. 環境経営目標の実施と評価	6
6. 環境経営計画の取組結果の評価、次年度の取組内容	7
7. 環境経営活動取組状況(写真)	10
8. 環境関連法規等の遵守状況	12
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	13

1.組織概要、実施体制

1) 事業所及び代表者名

新井工業株式会社
代表取締役 新井 邦仁

2) 所在地

- ・事務所
〒425-0066
静岡県焼津市大島775-2
- ・資材置場、駐車場
〒425-0066
静岡県焼津市大島775-4

3) 事業の内容

土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業

4) 事業の規模(令和5年度)

創立年…………昭和59年
事業年度…………10月～9月
社員数…………3人
売上高…………15905万円(完成検査基準とする)
事務所面積…………48.02m²
資材置場、駐車場面積…………97.09m²

5) 環境管理責任者氏名、連絡先

環境管理責任者:T・M
連絡先:TEL 054-624-8000
FAX 054-624-8027

6) 許可・資格

・静岡県知事許可、特定建設業(3)第21208号
土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業
しゅんせつ工事業、水道施設工事業
有効年月日:令和3年7月7日～令和8年7月6日まで

・有資格者一覧

土木施工管理技士

一級土木施工管理技士 3名

舗装施工管理技者

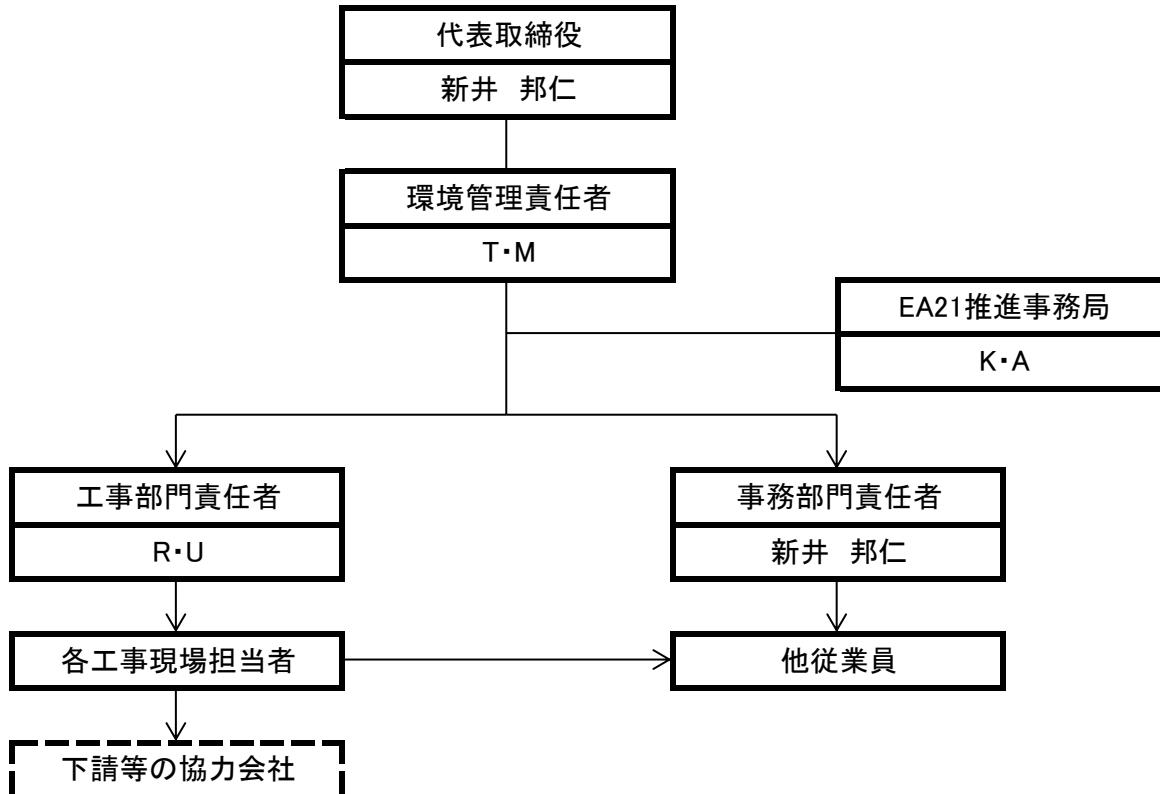
一級舗装施工管理技術者 2名

二級舗装施工管理技術者 1名

監理技術者

監理技術者 3名

実施体制



担当	役割・責任・権限
代表者(代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任者 ・環境管理責任者の任命 ・環境方針の策定 ・環境目標、環境活動計画、環境活動レポートの承認 ・EA21実施における、人材、設備等の提供 ・環境経営システムの見直し、評価
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、運用、維持に関する実務上の責任者 ・環境関連法規等の取りまとめ票の承認 ・環境目標、環境活動計画、環境活動レポートの確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
EA21推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画、環境活動レポートの作成・公開 ・環境活動の実施・集計 ・環境関連法規等の取りまとめ票の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ票に基づく評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
各部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門における環境経営システムの実施 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・各部門における環境方針の周知 ・各部門の従業員に対する環境教育の実施 ・各部門に関する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・問題点のチェック及び予防処置の実施
各工事現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の適正管理 ・現場における緊急事態への対応のための訓練の実施、記録の作成 ・現場における作業員及び下請等の協力会社への環境方針の周知
他従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動計画に従い、環境目標達成のための活動

2.環境経営方針

環境経営方針

基本理念

新井工業株式会社は、土木工事業を行っており、社員1人1人が
地球・環境について常に意識し活動を行っています。
さらに循環型社会に貢献するため、人や自然にやさしく、
環境保全につながる様な取り組みを、
社員一丸となって進めていく企業経営を目指しています。

行動方針

1. 環境負荷の低減と環境保全活動への取組み

- 事務所内、工事現場での節電、節水に取り組み、電気、水道の使用量の削減に努めます。
- 工事現場の作業における騒音、振動などの地域住民に対する配慮を心がけます。
- エコドライブ、省エネに努め、燃料消費量、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 工事現場での資材や事務用品のグリーン購入を推奨し、社内書類は裏紙の使用に努めます。

2. 環境関連法規等の遵守

- 環境関連法令を遵守します。

3. 環境経営の継続的改善

- 3R(Reduce・Reuse・Recycle)を心がけ、廃棄物等の削減、ゴミの分別、リサイクルに努め、循環型社会に貢献します。
- PDCAの環境経営を継続的改善をしていきます。

4. 環境コミュニケーションの積極的実施

- 環境関連の教育を行い、従業員の環境に対する意識の向上を図ります。

**新井工業株式会社
代表取締役 新井 邦仁**

制定日:2010年 9月30日
改定日:2021年 4月 1日

3.環境経営目標

- ・基準年は過去5年(令和元年～令和5年分の実測値の平均したものとする。)
- ・対象工事は300万円以上の工事とし、排出量は数値を現場数で割ったもの(排出量/件)とする。
- ・今年度の対象現場数は13件とする。
- ・電力係数は0.452(kg-co2/khw)を使用する。(基準年の電力係数使用する。)

項目	単位	基準年 (現場:9件)	目標※2		
		平均値 (2019～2023)	2024年	2025年	2026年
◎二酸化炭素排出量			毎前年度目標値より1%ずつ削減		
購入電力	kwh	1906.00	1886.94	1868.07	1849.39
	kwh/件	23.66	23.42	23.19	22.96
ガソリン	ℓ	3369.37	3335.68	3302.32	3269.30
	ℓ/件	420.69	416.48	412.32	408.20
	ℓ/100万円※1	29.75	29.45	29.16	28.87
軽油	ℓ	2215.00	2192.85	2170.92	2149.21
	ℓ/件	389.20	385.31	381.45	377.64
	ℓ/100万円※1	23.00	22.77	22.54	22.32
二酸化炭素	kg-co2	14458.90	14314.31	14171.17	14029.46
	kg-co2/件	2096.07	2075.11	2054.36	2033.81
	kg-co2/100万円※1	136.27	134.91	133.56	132.22
◎廃棄物排出量			毎前年度目標値より1%ずつ削減		
一般廃棄物	kg(全体数量)	59.14	58.55	57.96	57.38
	kg(焼却処分量)	45.98	45.52	45.06	44.61
産業廃棄物	t	827.94	819.66	811.46	803.35
	t/件	103.89	102.85	101.82	100.80
	t/100万円※1	8.95	8.86	8.77	8.68
◎排水量			毎前年度目標値より1%ずつ削減		
水使用量	m3	18.60	18.41	18.23	18.05
	m3/件	2.77	2.74	2.71	2.69
項目		目標			
◎グリーン購入					
エコ商品の導入		事務用品や現場資材でコストの増加が少ないものを導入する。 (年間で事務用品は10品目を目標とする。)			
◎地域貢献活動					
地域貢献活動への参加		工業会や地域の活動に積極的に参加する。			
◎現場の環境配慮					
現場で行う環境配慮		環境活動計画に記載されている項目の実施。 (現場の工種等により対応する。)			

※1 100万円当たり:(全体数量/請負金額合計(二次製品の金額を除く)*1000000

請負金額合計(二次製品の金額を除く)=182,986,871円

※2 目標値は基準年から中長期目標で3年間固定し1%ずつの削減を目標とする。

4.環境経営計画

環境経営計画表	担当者	実施計画											
【電気使用量について】		10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月											
・エアコンの設定温度の指定(夏27°C以上、冬24°C以下)	新井邦仁						→						
・業務上支障がでない程度にエアコンの使用を控える	新井邦仁					→							
・照明のこまめな消灯	新井邦仁												→
・使用していないパソコンの電源OFF	K・A												→
・昼、休憩時の照明などの電源OFF	K・A												→
・休日等の電子機器の主電源OFF	新井邦仁												→
・照明、エアコンなどの節電シール張付による意識付け	K・A												→
・コピー機などのOA機器は省エネ機器をなるべく買う	新井邦仁												→
【排水量について】		10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月											
・食器の洗浄や手洗いの時にまめに水を止める	新井邦仁												→
・節水コマの取付をし節水する	新井邦仁												
・給水管からの漏水がないか点検する	新井邦仁												
【燃料消費について】		10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月											
・急発進、急停止をしない	R・U												→
・アイドリングストップを心がける	R・U												→
・エコカー又は低燃費車の導入予定	新井邦仁												
・現場重機の省エネ運転の実施	R・U												→
・車、ダンプ、重機等のエアコンの使用を控える	R・U												→
・タイヤの空気圧チェック	R・U												→
・いらない荷物、資材等は乗せない	R・U												→
・現場へのルートは計画的に設定し走行距離を減らす	R・U												→
【廃棄物排出量について】		10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月											
・コピー用紙の裏面の利用	新井邦仁												→
・印刷時ミスプリントの削減	新井邦仁												→
・電子マニフェストの実施	T・M												→
・廃棄物の分別の徹底	T・M												→
・材料発注時にあまりがでないようにする	T・M												→
【現場での環境配慮について】		10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月											
・環境配慮を取り入れた施工の提案※1	各現場監督												→
【グリーン購入について】		10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月											
・現場の資材や事務用品はなるべくエコマーク商品を導入する	新井邦仁												→
【ボランティアについて】		10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月											
・草刈りやゴミ拾いのボランティアへの積極的な参加	T・M									→		→	
【その他について】		10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月											
・その他(業務改善、社会的課題対応)の実施※2	新井邦仁												→

※1 環境配慮を取り入れた施工の提案内容は次のページに記載

※2 その他(業務改善、社会的課題対応)の実施の内容は次のページに記載

(現場内外で行う環境配慮)

環境経営計画内容	担当者
【環境配慮を取り入れた施工の提案】	
・工事看板や安全掲示板は静岡県の間伐材等を使用する。	各現場監督
・取壊し工などの施工中に振動や騒音を現場周辺で計測して、記録し、住民対策をする。	各現場監督
・低騒音、排出ガス対策型、ハイブリットの重機を使用する。	各現場監督
・河川工事等の水辺での工事の時に重機からの作動油の河川への流失が起った場合の対策として、油の吸着マットや油の分解材や作動油を生分解性グリスの使用などを検討する。	各現場監督
・河川工事で河川内で生コン打設がある場合に水質のチェックとして、生コンの打設前、打設後に打設箇所の下流でPH試験紙を使用し水質のチェックを記録する	各現場監督
・区画整理や道路工事等の施工の掘削工の時に湧水があり、それを水中ポンプで水替えを行う時に、そのまま排水はせず、ノッチタンクやドラム缶で簡単な装置を作り、泥を沈澱させてから、排水する等の処置をする。	各現場監督
・現場でCO ₂ 管理ソフトを使用し、バックホウの稼働時間から現場でのCO ₂ は排出量を割り出し、開始時に積算から割り出した設計値からだした目標値と比べて燃料の消費量削減やCO ₂ 削減に貢献する。	各現場監督
・ICT施工工事の受注や活用を積極的にし、作業の効率化や省エネルギー化、担い手不足改善を図る。	各現場監督
【社員、下請会社への環境教育の実施】	
・上記の環境配慮等について施工計画に反映し実行する。	各現場監督
・ダンプ等の過積載防止の徹底。	各現場監督
・現場で発生した、一般廃棄物、産業廃棄物の分別の徹底。	各現場監督
・現場で使用する、石鹼や洗剤等の消耗品は詰め替えが可能なものを使用する。	各現場監督
・現場開始時と現場施工中に下請会社に対し、環境活動に対する訓練や会議を行い、現場での環境意識を高めるようにする。	各現場監督
・社員の教育を3か月に一回のペースで行い、目標に対する達成率や活動の見直しを行う。	各現場監督
・工事書類や社内の回覧等の書類はできる限り電子化し、ペーパーレス活動を行う。	各現場監督
【その他(業務改善、社会的課題対応)の実施】	
・SDGsに取り組む(女性、障害者の労働者の雇用を積極的に行う。)	新井邦仁
・現場単位での残業の削減、休日の確保による業務改善を行う。	各現場監督
・BCP(災害事業継続計画)の導入・更新を行う。	新井邦仁

5.環境経営目標の実績と評価

今年度の現場件数:13件

削減率=実測/目標*100=○○%→100%-○○%=削減率%

◎二酸化炭素排出量			評価 ○…目標達成 ×…目標未達成		
項目	単位	目標値(2024年)	実測値(2024年)	削減率	評価
購入電力	kwh	1886.94	1365.00	-28%	○
	kwh/件	23.42	105.00	348%	×
ガソリン	ℓ	3335.68	3426.36	3%	×
	ℓ/件	416.48	263.57	-37%	○
	ℓ/※	29.45	18.72	-36%	○
軽油	ℓ	2192.85	6703.68	206%	×
	ℓ/件	385.31	515.67	34%	×
	ℓ/※	22.77	36.63	61%	×
二酸化炭素	kg-co2	14314.31	25861.63	81%	×
	kg-co2/件	2075.11	1989.36	-4%	○
	kg-co2/※	134.91	141.33	5%	×

今年度は例年の目標の設定方法と変更し過去5年の平均値を計算しそこから目標値を算出したものと比較することとした。

結果全体的に今年度も評価としては未達成が多かった。

購入電力は全体としてはよかったです、このまま節電等を心がけていきたい。

ガソリンに関しては全体としては未達成だが件数単位、売り上げ単位では達成となった。目標値と実測値の差もあまりなかった為この目標値の設定方法で数年使用し評価していきたい。燃料代等もあがってきてる為、エコドライブ等を心がけていきたい。

軽油に関しては使用する現場としない現場があり、なかなか目標値と比較することが難しいため、今後いい方法検討したい。

二酸化炭素については軽油の使用量が多かった為、未達成となった。軽油同様比較方法の検討が必要と考えられる。

◎廃棄物排出量			評価 ○…目標達成 ×…目標未達成		
項目	単位	目標値(2024年)	実測値(2024年)	削減率	評価
一般廃棄物	kg(全体数量)	58.55	58.20	-1%	○
	kg(焼却処分量)	45.52	51.80	14%	×
産業廃棄物	t	819.66	94.88	-88%	○
	t/件	102.85	7.30	-93%	○
	t/※	8.86	0.52	-94%	○

一般廃棄物に関しては達成できたが-1%なので、お弁当や飲み物の持参等を心がけて、ゴミを減らしていきたい。

産業廃棄物に関しては今年度は産業廃棄物が少なく達成することができたが、軽油等と同じで目標値の設定方法を検討していきたい。

◎排水量			評価 ○…目標達成 ×…目標未達成		
項目	単位	目標値(2024年)	実測値(2024年)	削減率	評価
水使用量	m3	18.41	8.50	-54%	○
	m3/件	2.74	0.65	-76%	○

今年度も漏水や蛇口の締め忘れ等のチェックを行い、トラブルなく管理できた。

次年度以降も社員全員で節水等を心がけていきたい。

◎グリーン購入		評価 ○…目標達成 ×…目標未達成	
項目		評価	
エコ商品の導入		○	

・エコ商品の導入は次ページで項目ごと評価する。

◎地域貢献活動		評価 ○…目標達成 ×…目標未達成	
項目		評価	
地域貢献活動への参加		○	

・地域貢献活動への参加は次ページで項目ごと評価する。

◎現場の環境配慮		評価 ○…目標達成 ×…目標未達成	
項目		評価	
現場内外で行う環境配慮		○	

・現場内外で行う環境配慮は次ページ以降で項目ごと評価する。

※100万円当たり:(全体数量/請負金額合計(二次製品を除く)*1000000

今年度請負合計金額 ￥182,986,871.-

6.環境経営活動計画の取組状況と その評価、次年度の取組内容

2023.10～2024.9

環境活動計画表	取組結果とその評価、次年度の取組内容
【電気使用量について】	
・エアコンの設定温度の指定(夏27°C以上、冬24°C以下)	徹底できたので次年度も継続する。
・業務上支障がない程度にエアコンの使用を控える	去年度同様、猛暑により熱中症のリスクがあることから中止。
・照明のこまめな消灯	徹底できたので次年度も継続する。
・使用していないパソコンの電源OFF	徹底できたので次年度も継続する。
・昼、休憩時の照明などの電源OFF	徹底できたので次年度も継続する。
・休日等の電子機器の主電源OFF	徹底できたので次年度も継続する。
・照明、エアコンなどの節電シール張付による意識付け	徹底できたので次年度も継続する。
・コピー機などのOA機器は省エネ機器をなるべく買う	今年度の導入はなし。
【排水量について】	
・食器の洗浄や手洗いの時こまめに水を止める	お弁当持参により洗い物等はなし。次年度も継続。
・節水コマの取付をし節水する	取付検討中。
・給水管からの漏水がないか点検する	点検管理の徹底ができた。次年度も継続。
【燃料消費について】	
・急発進、急停止をしない	各従業員ごと徹底できたので次年度も徹底する。
・アイドリングストップを心がける	各従業員ごと徹底できたので次年度も徹底する。
・エコカー又は低燃費車の導入予定	今年度の導入はなし。次年度も導入予定なし。
・現場重機の省エネ運転の実施	安全教育の場等で教育を行った。次年度も継続する。
・車、ダンプ、重機等のエアコンの使用を控える	去年度同様、猛暑により熱中症のリスクがあることから中止。
・タイヤの空気圧チェック	各従業員ごと徹底できたので次年度も徹底する。
・いらない荷物、資材等は乗せない	各従業員ごと徹底できたので次年度も徹底する。
・現場へのルートは計画的に設定し走行距離を減らす	各従業員ごと徹底できたので次年度も徹底する。
【廃棄物排出量について】	
・コピー用紙の裏面の利用	徹底できたので次年度も継続する。
・印刷時ミスプリントの削減	徹底できたので次年度も継続する。
・電子マニフェストの実施	電子マニフェスト使用率100%。
・廃棄物の分別の徹底	分別の徹底できたので次年度も継続する。
・材料発注時にありがでないようにする	徹底できたので次年度も継続する。
【現場での環境配慮について】	
・環境配慮を取り入れた施工の提案※1	現場内外で行う環境配慮は次ページ以降で項目ごと評価する。
【グリーン購入について】	
・現場の資材や事務用品はなるべくエコマーク商品を導入する	今後も詰め替え可能商品などを積極的に導入していきたい。
【ボランティアについて】	
・草刈りやゴミ拾いのボランティアへの積極的な参加	例年開催のは参加できたので次年度も継続して参加する。
【その他について】	
・その他(業務改善、社会的課題対応)の実施※2	・その他(業務改善、社会的課題対応)の実施は次ページ以降で項目ごと評価する。

※1 環境配慮を取り入れた施工の提案内容は次のページに記載

※2 その他(業務改善、社会的課題対応)の実施の内容は次のページに記載

(現場内外で行う環境配慮)

2023.10～2024.9

環境活動計画内容	取組結果とその評価、次年度の取組内容
【環境配慮を取り入れた施工の提案】	
・工事看板や安全掲示板は静岡県の間伐材等を使用する。	今年度も昨年同様に導入に至らなかつたので、検討したい。(値段と再利用の問題で検討中)
・取壊し工などの施工中に振動や騒音を現場周辺で計測して、記録し、住民対策をする。	今年度も大規模な取壊し作業はなかつたので、次年度以降も取壊し工事があれば対策していきたい。
・低騒音、排出ガス対策型、ハイブリットの重機を使用する。	例年通り低騒音、排出ガス対策型重機の使用ができた。
・河川工事等の水辺での工事の時に重機からの作動油の河川への流失が起つた場合の対策として、油の吸着マットや油の分解材や作動油を生分解性グリスの使用などを検討する。	河川工事以外でも、水路に流れて下流域に作動油等が流出しないように油液処理キットを現場に常備し備えることができた。
・河川工事で河川内で生コン打設がある場合に水質のチェックとして、生コンの打設前、打設後に打設箇所の下流でPH試験紙を使用し水質のチェックを記録する。	今年度は河川の近くでの作業がなかつた為使用しなかつた。次年度も現場の状況により使用する。
・区画整理や道路工事等の施工の掘削工の時に湧水があり、それを水中ポンプで水替えを行う時に、そのまま排水はせず、ノッチタンクやドラム缶で簡易な装置を作り、泥を沈殿させてから、排水する等の処置をする。	昨年度同様、本年度も湧水等がある工事が無く導入には至らなかつた。次年度以降で湧水がある現場があれば導入したい。
・現場でCO ₂ 管理ソフトを使用し、バックホウの稼働時間から現場でのCO ₂ 排出量を割り出し、開始時に積算から割り出した設計値からだした目標値と比べて燃料の消費量削減やCO ₂ 削減に貢献する。	今年度も去年度同様、CO ₂ 管理ソフトで管理できた。例年同様、下請け業者にも安全教育の場を利用しエコドライブやアイドリングストップについて教育して取り組んでもらうことができた。
・ICT施工工事の受注や活用を積極的にし、作業の効率化や省エネルギー化、担い手不足改善を図る。	今年度もICT対応の現場を受注できたので次年度以降も積極的に受注していきたい。
【社員、下請会社への環境教育の実施】	
・上記の環境配慮等について施工計画に反映し実行する。	各現場単位で実行できたので次年度も継続する。
・ダンプ等の過積載防止の徹底。	各現場単位で実行できたので次年度も継続する。
・現場で発生した、一般廃棄物、産業廃棄物の分別の徹底。	各現場単位で実行できたので次年度も継続する。
・現場で使用する、石鹼や洗剤等の消耗品は詰め替えが可能なものを使用する。	各現場単位で実行できたので次年度も継続する。
・現場開始時と現場施工中に下請会社に対し、環境活動に対する訓練や会議を行い、現場での環境意識を高めるようにする。	今年度も安全訓練等で下請け業者にも環境活動の教育を行えた。次年度も現場単位で下請け業者等に教育を行う。
・社員の教育を3か月に一回のペースで行い、目標に対する達成率や活動の見直しを行う。	今年度も3か月ごとに数値を把握し、会議で評価、対策等を検討できたので次年度も行っていきたい。目標の設定方法を検討していきたい。
・工事書類や社内の回覧等の書類はできる限り電子化し、ペーパーレス活動を行う。	情報共有システムに対応している現場は提出書類などを電子で提出しペーパーレス活動ができた。次年度以降も情報共有システムを使用していきたい。
【その他(業務改善、社会的課題対応)の実施】	
・SDGsに取り組む(女性、障害者の労働者の雇用を積極的に行う。)	引き続き女性労働者の募集を行う。
・現場単位での残業の削減、休日の確保による業務改善を行う。	週休2日工事などを積極的に採用し、作業員、社員のリフレッシュを行い、業務改善を行つた。
・BCP(災害事業継続計画)の導入・更新を行う。	継続して更新を行う。

7.環境経営活動取組状況

・パソコン主電源OFF



・エアコンの温度設定



・節電の呼び掛け



・余分な蛍光灯の取り外し



・エコ運転の呼び掛け



・節水の呼び掛け



・ミスプリントの裏面利用の促進



・一般ごみの分別の徹底



現場施工状況写真

大富藤枝線道路工事

L型側溝打設



6-6号線舗装工事

アスファルト舗装



小川橋橋梁補修工事

ガードレール取替



小川橋橋梁補修工事

伸縮装置取替



焼津港防舷材設置工事

防舷材設置



瀬戸川樹木伐採工事

樹木伐採



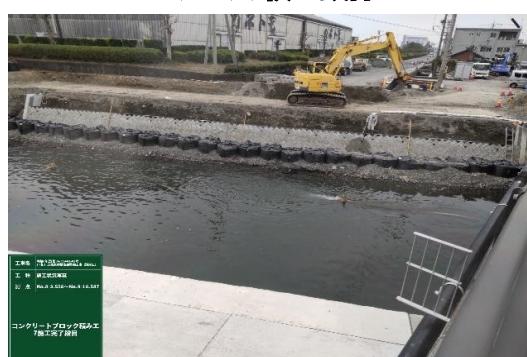
板山川河川浚渫工事

河床掘削



志太東幹線護岸工事

ブロック積み護岸



8.環境関連法規等の遵守状況

1.環境関連法規等の遵守状況

当事業所に運用される環境関連法規の遵守状況を確認した、結果、違反はありませんでした。

法規制度の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	条項 (法律・施行令)	該当する設備・項目	遵守評価	
				証明書	判定
廃棄物処理法	・委託基準 産廃収集運搬 ・処理業者の許可確認、契約書の締結	法12条の4	産業廃棄物 (がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず、廃プラスチック類、木くず)	契約書 許可書	○
	・マニフェスト交付 A,B2,D,E票の保管(5年間) B2,D票90日 E票180日以内に送付されない場合は30日以内の知事への報告	法12条の3 法12条の5		マニフェスト	○
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出			報告書	○
静岡県・静岡市 産業廃棄物の 適正な処理に 関する条例	・実地、中間処分場の確認 ・責任者選定と表示 ・掲示板の表示 ・記録の保管			写真 確認 報告書	○
建設リサイクル法	・委託基準 産廃収集運搬 ・処理業者の許可確認、契約書の締結 ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 ・マニフェスト交付 A,B2,D,E票の保管(5年)B2,D票90日 E票180日以内に送付されない場合は30日以内の知事への報告	法2条 法12条の4 法12条の3 法12条の5			○
振動規制法	静岡県生活環境の保全に関する条例 ・特定機種、場所、作業時間、作業日の届出	法14条第1項			-
騒音規制法	静岡県生活環境の保全に関する条例 ・特定機種、場所、作業時間、作業日の届出	法14条第1項			-
オフロード法	・申請届出				-
グリーン購入法	・できる限り環境物品等を選択するよう努め	法5条	購入品・調達品 購入先・外注先		○
資源有効利用促進法	・環境型経営システムの構築		製品等の3R		-
フロン排出抑制法	・エアコンの簡易点検の実施		エアコン・重機	点検表	○
	・重機の簡易点検の実施				
浄化槽法	・保守点検、清掃、法定検査	法11条	浄化槽	記録表	○

2.違反、訴訟の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間有りませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による全体の評価・見直し記録表				
				代表者 新井邦仁
				作成年月日 R7.4.1
評価 関連 情報	項目		確認	必要に応じて評価・コメント記載
	1	環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	比較方法を変更したが未達成となった項目が多く目標値の設定方法が課題。
	3	環境経営計画及び取組の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	現場内外含め活動が意識できている為継続していく。
	4	環境関連法規等の遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	遵守している。
	5	環境コミュニケーションの活動・記録	<input checked="" type="checkbox"/>	道路愛護活動等への参加ができる。
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	目標値の再検討。
	7	その他()	<input type="checkbox"/>	
8		<input type="checkbox"/>		
代表者による全体の評価見直し	全体の評価・コメント	従業員のエコに対する意識付けできてきてていると感じる。今後も従業員一人一人がいろいろな取り組みにさらに積極的に取り組んでほしい。 今年度は例年の目標値の設定方法から変更し過去5年の平均値を採用したが未達成の項目が多く、比較方法として正しいのか検討していく必要があると感じた。		
	見直し項目	変更の必要性	指示事項等	
	1 環境経営方針	無		
	2 環境経営目標	有	目標値(平均値)の設定方法の再検討	
	3 環境経営計画	無		
	4 組織の概要	無		
5 環境経営レポート	有	環境経営目標同様変更の検討		